

インフラシステム海外展開戦略2030における農林水産省の主な取組

1. 相手国との共創を通じた我が国の「稼ぐ力」の向上と国際競争力強化

モデルファーム等を通じ、**民間企業とともに**、相手国のニーズに応える「**懐に入る**」取組の推進

- ◆ インドやモザンビークの農業現場で、機械化や農業生産性の向上等の現地ニーズに応える「モデルファーム」を設置し、相手国農業者、事業者、行政関係者に対し日本企業の技術や製品を展示・実演し、民間での事業化や行政プロジェクト化を推進。
- ◆ また、国際機関の仲介により、日本企業と相手国生産者等とのマッチングを図り、日本企業の持続可能な農産物調達を支援。



現地で使われているトラクターの自動操舵化の講義（インド）

2. 食料安全保障等の新たな社会的要請への迅速な対応と国益の確保

穀物等の**安定輸入**に向けた**サプライチェーン強靱化**

- ◆ 日本企業が穀物等の日本向け輸出のために海外に有する調達網の強化を支援。
- ◆ ODA等を活用した、**港湾、道路、鉄道等の整備**を推進。



日本向け輸出に使われている穀物輸出ターミナル（ブラジル）

ウクライナの農業復興への**日本企業の参画推進**

- ◆ 日本企業とウクライナ農業省等との**協力体制構築**を支援（覚書締結）。
- ◆ 日本企業のウクライナ訪問やウクライナ関係者の日本への招へい等により**技術紹介や関係構築**を推進。



ウクライナ関係者の日本招へい（園芸作物のかん水技術視察）

3. GX・DX等の社会変革をチャンスとして取り込む機動的対応

日本の技術を活用し強靱かつ持続可能で生産性の高い農業を**グローバルサウス**に広げる

- ◆ 日本の高い技術を活用し、**温室効果ガス排出の低減**を含めた**持続可能で生産性の高い農林水産業**を中南米、アフリカを含むグローバルサウスに広げていく。
- ◆ ASEANでの経験も活かした各地域の状況に応じたテラーメイドの連携・協力を推進。**日本とグローバルサウス諸国の関係強化**を図るとともに、**日本の技術や民間企業のビジネスの海外展開**を後押し。



カンボジアの水田メタン排出削減プロジェクト（出典：JIRCAS）